

和歌山大学東日本大震災ボランティアバスプロジェクト

東日本大震災被災地支援のため夏期休業期間中において災害ボランティアバスを運行しました。

活動日程：

○第1便：平成23年8月16日～20日

○第2便：平成23年8月23日～27日

バス2泊、現地活動3日間

活動拠点：

○陸前高田市災害ボランティアセンター

○陸前高田市小友町新田地区（広田半島）

宿泊拠点：

○災害ボランティアセンター住田町基地

参加人数：

○学生45名、教員3名、職員4名

活動内容：

○ガレキ撤去、溝掃除、自宅清掃等



陸前高田市中心部

上：瓦礫の山と5階建マンション

下：住宅が密集していた場所



陸前高田市小友町新田地区の被災状況



小友町新田地区



当時の状況を説明する地区会長

陸前高田市は東日本大震災で最大の15.8mの津波を観測している。住民の約10人に1人が亡くなったか行方不明とされている。広田半島には両方の湾から津波が押し寄せ、小友駅付近で30m以上の黒い水柱が上がり渦を巻いたとされている。新田地区は少し高台にあり77軒の家があったが、殆どが津波に飲み込まれ助かったのは10軒程度であった。



側溝のドロ出し



瓦礫の撤去



自宅の清掃



反省会



第1便



第2便



災害ボランティアセンター 住田町基地



陸前高田市災害ボランティアセンター